

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成23年11月10日 第54号
浜田市農林業支援センター

はじめに

11月を迎え、収穫の秋も終盤となりました。今年は台風の影響も少なく豊作であったと思っております。しかし、収穫作業にあたり良かった事や、反対にそうではない事など各々感じられたことと思います。この感じられた事を記録に残し、来年に繋げてほしいと思います。特に年1作の農産物については、反省の記録が将来に大きく影響すると思います。

(浜田市農林業支援センター長 酒井 憲正)

1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム (担当: ^{いなだ} 稲田・^{やまおか} 山岡)

ACスマイルの“笑顔”はいかが？



11月5・6日、ふれあいジム・かなぎを会場に「第24回さざんか祭り」が開催されました。石見神楽をはじめとするステージイベントのほか、農林産物の品評会、市内外からの出店がありました。

例年同様、今年も金城農業青年クラブ（通称ACスマイル）が出店され、餅つきの実演や花の苗、ピオーネジャムなどの販売が行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、杵で餅をつく姿は元気いっぱい、会場にたくさんの笑顔を届けていました。これからも地域の中心としての活躍を期待します。



● 認定農業者支援チーム (担当: ^{まつい} 松井・^{いなだ} 稲田)

星の物語、ついに完結！



本誌6月号で紹介した、金城町の認定農業者 藤若将浩さんの稲作体験イベント「田んぼに星を」が、最終回を迎えました。

左の写真は7月末に撮影されたものですが、コシヒカリの緑の中に、黒米の星形が見事に浮かび上がっています。

田植えや生き物調査を通してすっかり仲良くなった約30名の参加者は、10月8日に稲刈り、22日に脱穀・粳摺りを体験。そして薪で炊いたアツアツの新米を味わい、

そのおいしさを堪能していました。

参加者からの熱烈なアンコールを受け、刈り取った藁を使って番外編の「しめ縄づくり」の開催も急きょ決定。藤若さんの田んぼアートと体験イベントは、これからも続いていきそうです。



■ 集落営農組織支援チーム (担当: ^{かまはら} 鎌原・^{やまおか} 山岡)

アカメガシワ収穫!!

アカメガシワは鳥獣害がなく、施肥・防除などの栽培経費をかけずに管理ができるということで、遊休農林地を地域資源としたモデル実証として、中山間地域研究センターで研究しているものです。

金城町の(農)ひやころう波佐では平成22年から試験的に栽培に取り組んでおり、今年は県の「水田多面的利活用実践支援事業」を使って実証試験を行っています。

予定では年3回収穫できるのですが、まだ生長途中ということで、今年は2回の収穫を実施しました。収穫量は十分ではなかったものの、今後、遊休農林地を使った新しい作物のひとつとして実証試験を続けていき、皆さんに報告できればと思っています。



2. 農薬、肥料等の取扱いについて

先日、農作業中に**肥料用消石灰が眼に入り、左眼を失明する**という事故が山口県で発生しました。これを受け、農林水産省から注意喚起の通知がありました。

消石灰は園芸分野における土壌成分の調整等に用いられることに加え、家畜衛生対策として消毒資材の一種として用いられています。このように使用範囲は多岐にわたることから、**使用の際には十分注意してください**。

また、消石灰に限らず農薬や肥料等の農業用資材は、時に危険を招くことがあります。保管方法も含め取扱の際には正しい使用方法を確認いただき、適正に行うよう留意しましょう。

3. 『島根県産品展示・商談会』の開催について

島根県では、県内産飲食品の地域内流通を促進するため、商談会を開催します。この商談会では、県内における販路拡大に向け、生産者や加工メーカー等と流通業者とのきっかけづくりを目的としています。



新たな商品流通をお考えの皆さん、この機会に参加されてはいかがでしょうか。

■日 時：平成24年3月14日（水）10:00～16:00

■場 所：朱鷺^{とぎ}会館多目的ホール（出雲市西新町2丁目2456番地4）

■内 容：●セミナー（10:00～11:30）※商談の進め方や実需者からの情報提供などの研修。
●展示・商談会（13:00～16:00）※サンプル展示を行い、各社ごとに商談等を行う。

■出展対象：県内の飲食品（農林水産物、酒類含む）製造企業、団体等

■募集締切：11月25日（金）まで

■申込み先：島根県しまねブランド推進課 農林水産品グループ（TEL：0852-22-6398）

HPアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/brand/>

4. 大好評！『B級グルメフェスティバル in 浜田』



11月3日に浜田漁港で開催された「BB大鍋フェスティバル」の会場内において「B級グルメフェスティバルin浜田」が昨年に引き続き開催されました。

県外からは津山ホルモンうどん（岡山県）、広島お好み焼（広島県）、今治焼豚玉子飯（愛媛県）、久留米ラーメン（福岡県）が出店され、市内の7団体も含め、昨年より多い全11団体となりました。認定農業者である(有)KKNはいちごとピオーネのアイスクリームと、農園で取れたさつまいもを使ったたい焼きなどを販売されました。当日は暖かかったためアイスクリームが好評で、購入者はいちごとピオーネの爽やかな甘みと酸味を楽しんでいました。

5. クマの出没にご注意ください！



近年、全国的に**クマの出没や被害**についての報道が多く聞かれます。浜田市においても例外ではなく、現在でも各地で目撃情報が寄せられています。島根県内ではクマと遭遇し負傷した方もおられます。被害にあわないためには人の存在を知らせることが重要といわれており、クマ除けの鈴やラジオなど音の出るものが効果的です。また、子グマを見かけたときは、近くに親グマがいる可能性が高いため、十分注意することが必要です。クマを自宅付近へ近づけないことも大切で、柿などのえさになるものを取り除くことも有効です。

秋は行楽のシーズンです。家族や友人などで紅葉を見に行かれることや、きのこ狩りなどを楽しむこともあろうと思いますが、クマの被害にあわないよう十分気をつけましょう。

○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
○ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp